

## 「令和6年度 とやま水土里フォーラム」の開催

富山県、富山県土地改良事業団体連合会が主催した「令和6年度とやま水土里フォーラム」が、令和6年10月17日（木）黒部市国際文化センターコラーレにて、土地改良関係者、県・市町村、入善高校農業科 総計約600人参加のもと開催されました。

主催者を代表して、佐藤一絵 副知事、中川忠昭 県土連副会長から開会の挨拶があり、続いて来賓の遠藤知庸 農林水産省北陸農政局長、堂故茂 参議院議員、井上学 富山県議会副議長、武隈義一 黒部市長から祝辞がありました。



次に県知事表彰の式典に入り、土地改良施設の維持管理や、多面的機能の発揮のための活動に取組み、他の模範となる団体および個人に対して「とやま水土里賞」が佐藤副知事から受賞されました。



受賞されたのは、次の1団体と5個人の方々です。おめでとうございます。

### ■団体

- ・有限会社 林農産（黒部市）

### ■個人

- ・澤田 訓正 氏（黒部市）・堀 哲之 氏（射水市）・水口 正 氏（高岡市）
- ・宇城 敏昭 氏（氷見市）・山田 八司 氏（南砺市）

続いて、とやま水土里賞の団体受賞者である、(有)林農産（発表者：林幸治 代表）から事例発表が行われました。

次にパネルディスカッションに移り、本フォーラムのテーマである『とやまの農業を支える多様な担い手、つなぐ未来』と題し、様々な現場における人材確保や育成について事例紹介を含めて意見交換を行いました。



コーディネーターは佐藤副知事が務め、パネリストとして「(株)Stay-gold てらだファーム」代表取締役：寺田晴美氏、「うし太郎信繁」代表：服部大介氏、「農事組合法人前山」副組合長：中谷翔太氏の3名にて行われました。

パネリストからは各分野の貴重な取り組み事例やご意見が発表され、「農業の持続的な発展」を図るためにはソフト・ハード対策の両方をしっかり進める必要があるとしてパネルディスカッションが終了しました。



会場からは、一般の方や高校生からも積極的な質問が出るなど、これからの農業事情に興味、関心を持っている事が伝わってきました。



一方、1階ロビーでは「とやま水土里賞受賞」、「とやま水土里プロジェクトの展開・取り組み」や「農福連携のすすめ」および「煌めく富山の女性のロールモデル」等々のパネル展示をおこないました。また、会場では新川管内における「上空から見た土地改良施設」等のオープニング動画も放映しました。



午後からは現地研修として、300人を超える参加者が「黒東合口用水路・右岸沈砂池」、「有限会社 林農産」、「県営農地整備 出島地区」、「道の駅 KOKOくろべ」の4箇所を、バスにて視察し全日程を終えました。

